



小塩山のカタクリ自生地探訪報告書

日時 2023年4月13日(木)

集合場所 阪急東向日駅 西改札口 10時

行程 阪急東向日→南春日町下車(阪急バス)→徒歩にて金蔵寺拝観・昼食→

カタクリ自生地→金蔵寺→南春日町・灰方(阪急バス)→阪急東向日駅 解散

参加者数 15名

新年度初の活動は新科員の秋山さん・岡崎さんが参加されました。駅前からバスに乗車。バスを降りてからはひたすら山道を歩きました。道中タケノコがあちらこちらで土から顔を出し、白い花のシャガが自生し、ミツバツツジが咲き乱れ、鯉のぼりがわずかな風に吹かれて泳いでいる春の景色を満喫しながら歩きました。

一時間程度歩き、金蔵寺に到着。苔むした階段、枝垂れ桜と青紅葉、静寂な佇まいに癒されました。お寺から少し離れた展望台からの眺めは、前日より中国からの黄砂が飛来し全般に景色が霞んで見えたのが残念でした。境内で昼食後、再びカタクリの群生地を目指して険しい道を一時間程歩いて到着。通路の両側には一面にカタクリの花が開花していました。発芽から開花まで7年から8年かかるそうです。カタクリの花言葉は「初恋」「寂しさに耐える」だそうです。赤紫の花を下向きに咲かせる可憐な姿にぴったりの花言葉だなあと思いました。2か所目のNの谷の前でボランティアの方の説明聞き谷を一周。残念ながらギフチョウに出会うことはできませんでしたがチゴユリ、ミヤマハコベ、シハイスミレ、エンレイソウ、ミヤマウグイスカグラ等々、貴重な草木を見ることができました。担当して頂きました福嶋さんご夫妻有難うございました。そして参加された皆さまお疲れ様でした。



東川さん、半身しか写ってなくてゴメンナサイ



金蔵寺展望台 黄砂の影響で霞む



可憐なカタクリの花

記録 藤井良子 (2023,4,15)